

全国鉄構工業協会中国支部

やまもと やすのり

山本 泰徳氏

(ステントス社長)

全国鉄構工業協会の理 つつあることを踏まえ、  
事・中国支部長に6月就 「次世代を担う中国地区

任した山本  
泰徳ステン  
トス社長。

鉄骨業界は  
東京五輪需  
要を背景に

全国的な高  
原状態だが慢心はなく、  
景気後退後を見据えた事  
業展開を唱える。創業者  
から数えて三世代目が業  
界の経営層の主流を占め



各県の有力  
な若手経営  
者に表に出  
てもらい、  
積極的に組  
合活動に参  
加してもら

える仕組みづくりを行  
う」ことが支部長として  
の抱負と語る。  
鉄骨業界が抱える難課  
題にも独自の解決策を模

索する。ドライバー不足 まずは自らが理事長を務め、  
が慢性化し、製器運搬に める広島県鉄構工業協会が  
各社が苦しんでいる。 広島県トラック協会との  
「鉄骨・トラック両業界 連携を模索し、この取り  
間講師を派遣し、優秀な  
でも呼びかけ続ける意向  
だ。



組みを 人材を育成・確保する計  
中国支 画だ。  
部から 「歴史をたどると、明  
広げて 治維新など改革は地方未  
いく構 端から始まる」が持論。  
え。高 これまでも広島県の理事  
度な技 長として、公共工事・民  
術を持 間工事の見積もり有料化  
つ外国 推進の旗振り役を務め、

人手不足の解決策模索

とも人手不足だ。建築現 実習生の受け入れについて  
場の計画性が乏しく、オ て、まずは同県鉄構工業  
ーバーチャージが発生し 会が受け皿となり推進す  
ても元請けには請求でき る。ベトナム国内の高レ  
ない」との状況を憂い、 ベルの大学内に、3次元 果たした。中国支部長と

略歴

1988年青山学院  
大経営学部卒。ソフト  
サービスマネジメントを経て、93  
年山本鉄工所(現ステ  
ントス)入社、200  
4年社長就任。同社は  
今年4月に創業80周年  
を迎えている。広島県  
鉄構工業会では副理事  
長を6年間務め、今年  
で理事長職は3期目に  
突入した。1964年  
12月生まれ、広島市出  
身。